

2018年1月25日

大塚製薬工場、ニュージーランド合弁会社・
ダイアトランズ大塚の持分追加取得に関する契約を締結

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一、以下「大塚製薬工場」)は、大塚製薬工場が50%の持分を保有するニュージーランドの合弁会社・ダイアトランズ大塚株式会社(以下「DOL社」)について、Living Cell Technologies Limited(以下「LCT社」)が保有する全株式(50%)を取得することに合意し、LCT社との間で株式譲渡契約を締結しました。本契約に基づき、現地時間2018年1月31日付で譲渡が完了する予定です。これにより、大塚製薬工場のDOL社への出資比率は100%となります。

大塚製薬工場は、2011年11月1日、LCT社と共にDOL社を設立し、糖尿病治療用のバイオ人工膵島「DIABECCELL[®](ディアベセル)」(以下「ディアベセル」)の研究開発・事業化を推進してまいりました。糖尿病にはさまざまな治療法が存在しますが、これらの治療法では十分な効果が得られない患者さんにおいて、新たな治療法が望まれています。大塚製薬工場は新たな治療の選択肢を提供することを目指し、これまで培ってきた開発力を生かして、糖尿病およびその合併症の予防・治療の開発に引き続き取り組んでまいります。今後も再生医療領域および異種移植治療における研究開発をより一層強化し、日本のみならず海外において積極的な事業展開を進めてまいります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

「ディアベセル」について

「ディアベセル」は、LCT社が開発した製品であり、人移植用に無菌状態で飼育されたブタの膵島細胞をカプセルに閉じ込めたカプセル化ブタ膵島細胞で、糖尿病患者の腹腔内に移植し、インスリン分泌を補充する装置です。重症1型糖尿病治療の新たな選択肢になると期待されています。2014年10月にDOL社と大塚製薬工場が締結したライセンス契約に基づき、大塚製薬工場は米国および日本において、ディアベセルの独占的な開発・製造・販売権を有しています。大塚製薬工場は米国における臨床試験を数年以内に実施することを目指しており、日本での開発についても現在検討を進めております。

会社概要

ダイアトランズ大塚株式会社 (Diatranz Otsuka Limited)

設 立 : 2011 年 11 月 1 日
資 本 金 : 50,000,000 オーストラリアドル
代 表 者 : General Manager Shaun Wynyard
本 社 所 在 地 : 19 Laureston Avenue, Papatoetoe, New Zealand
従 業 員 数 : 3 名 (2017 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : ディアベセルおよび異種移植製品の臨床開発、製造、商業化等
出 資 比 率 : 株式取得前 大塚製薬工場 50%、LCT 社 50%
株式取得後 大塚製薬工場 100%
U R L : <http://www.dolglobal.com/>

Living Cell Technologies Limited

設 立 : 1987 年
資 本 金 : 74,339,770 オーストラリアドル
(オーストラリア証券取引所<ASX>に上場)
代 表 者 : Chief Executive Ken Taylor
所 在 地 : Level 7, 330 Collins Street, Melbourne VIC 3000, Australia
事 業 内 容 : 細胞を使って機能を回復させる再生治療の研究、開発、商業化
U R L : <http://www.lctglobal.com/>

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969 年 10 月 7 日 (創立 1921 年 9 月 1 日)
資 本 金 : 8,000 万円
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)
本 社 所 在 地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,297 名 (2017 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売および輸出入
U R L : <http://www.otsukakj.jp/>